

第6回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和5年8月7日（月曜）		午後1時30分 開会		
	休 憩 14:22-23				
			午後2時31分 閉会		
	休憩時間：0時間1分		会議時間：1時間30分		
会 議 場 所	3階委員会室				
出 席 委 員 氏 名	委員長	中村 和宏	委 員	立川 美穂	
	副委員長	中田智恵子	委 員	堀切 忠	
	委 員	鈴木 健充	委 員	小笠原 等	
	委 員	早苗 豊	委 員	伊藤 稔	議 長
説 明 員	公立芽室病院事務長	西科 純	経営企画係長		杉本 康次
	事務長補佐	篠田 潤一			
	総務係長	佐藤 文彦			
参 考 人					
欠 席 委 員 氏 名					
事務局職員	事務局長	安田 敦史	総務係主査	上田瑞紀	
『会議に付した事件と会議結果など』					
1 開 会					
・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。					
2 議 件					
(1) 調査事項					
ア 公立芽室病院の経営状況（令和5年度第1四半期）について 資料1					
・事務長：資料を総務係長及び事務長補佐から説明する旨を告げる。					
・総務係長：資料説明（第一四半期決算状況）					
・事務長補佐：資料説明（診療科別前年対比、月別入院状況、月別外来状況）					
・委員長：質疑はないか？					
・中田委員：外来の内科、小児科の減の要因は？					
・事務長補佐：コロナ検査の減である。					
・堀切委員：入院の減の要因は？					
・事務長補佐：去年はたまたま多かったという捉えである。					
・早苗委員：当初予算の見込みより、かなり減となっているにもかかわらず、その要因がつかめていないようだが、この減の影響による予算を補正予算で提案する予定はあるのか？					
・事務長：第一四半期の営業実績については、毎年度、その要因を絞り込むには難しいものがある。また、補正予算は、現段階では考えていない。1年をトータルで見ると					

えていきたい。

- ・立川委員：第一四半期の減額部分を、第二、第三四半期での営業で挽回を図っていく考えは理解するが、三階の病床（療養病床）の対応について、予定があれば伺いたい。
- ・事務長：以前、議会にも説明した経過があるが、療養病床はすでに想定がなく、今後は地域包括の病床として、活用していく予定である。
- ・立川委員：材料費について、昨年度はコロナ対応として前もって確保したというが、現段階で在庫保有状況はいかがか？
- ・事務長：今年度については、在庫管理を適正に行っている。
- ・堀切委員：昨年のコロナの実績は？
- ・事務長補佐：昨年度は2,894件で、今年度は1,194件である。
- ・堀切委員：2類から5類に代わり、コロナ検査の傾向は？
- ・事務長：1日平均10件程度である。
- ・堀切委員：入院患者のコロナ病床の状況は？
- ・経営企画係長：第一四半期では、実患者として3名の受け入れをしている。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 公立芽室病院クラウドファンディングの取組みについて 資料2

- ・事務長：資料説明（計画策定根拠、作業進捗状況、令和5年度スケジュール）。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・中田委員：訪問看護の将来展望は？
- ・事務長：訪問看護は現在50人程度、月に何度かの訪問。リハビリは13人。現時点で2～3倍の潜在的利用希望者が存在するものと捉えている。
- ・中田委員・車両の今後の整備見込みは？
- ・事務長：訪問事業に4人の看護師を配置している。今後、2人増員の見込みもある。通常1人1台と言われているので、単純計算でも6台は必要と考えている。
- ・立川委員：車両取得後の維持管理費用を含めて、1台500万円で不足する経費の捻出先は？
- ・事務長：病院予算で執行したい。
- ・立川委員：今後の車両確保に向けて、クラウドファンディング以外に、当初予算で車両取得予算を計上する考えはないか？
- ・事務長：車両取得は、在宅診療の希望見込みが前提となるので、単純に台数を整備しようとするものではない。この事業については、職員給与と収入を比較すると、明らかに採算が合う事業ではないため、人件費の確保と事業の執行予算を見極めていきたい。
- ・小笠原委員：クラウドファンディングに際し、プレゼンはどのような手法で行っているのか？
- ・事務長：病院のホームページと先方の法人ホームページ。ネットと紙媒体の2種類で

取り組んでいく。

- ・小笠原委員：他自治体の取組み例を取り入れるのか？
- ・事務長：他の優良事例を参考に、町が主体となる地域包括支援システムを採用して取り組んでいきたい。
- ・小笠原委員：世帯全員を対象に実施するような事業展開を期待するがいかがか？
- ・事務長：町全体で行っていく事業と医療機関が実施する事業を区分しながらも、御意見の内容も踏まえながら考えていきたい。
- ・鈴木委員：町民への周知も重要と考えるが、いかがか？
- ・事務長：できるだけ近くにいる存在（町民）に協力を促すことがとても重要であり、また、高齢の方にネットと疎遠な方も少なからず存在することから、ネットに委ねすぎることなく、草の根的な活動も重要と考えている。
- ・堀切委員：法人への手数料はいかほどか？
- ・事務長：金額の3%、もしくは3万円いずれか安価な方と聞いている。
- ・立川委員：募金は一人いくら程度からの設定か？
- ・事務長：現段階で言及できない。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

- ・委員長：自由討議についてお諮りする。調査事項「ア」について、意見はないか？
- ・立川委員：第二四半期以降の決算状況を調査するにあたっては、経営改革の経過と現状を委員会内で事前に共有する時間を持ち、一定の目線を合わせてから調査してはいかがかと感じる。
- ・委員長：事前の取組みについては、正副で協議して、改めて委員会内で協議したい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：以上で調査事項「ア」の自由討議を終了する。

- ・委員長：自由討議についてお諮りする。調査事項「イ」について、意見はないか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：以上で調査事項「イ」の自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・正副一任

(2) その他

- ・委員長：その他で各委員からないか？
- ・立川委員：前回の委員会で話題提供したように、抽出事業の調査研究として、先進地

事務調査をできるだけ早くに取り掛かれるように進めるべきと考える。

- ・委員長：正副で検討しながら取り組んでいきたい。
- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	1名	報道関係者	0名	議員	1名	合計	2名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和5年8月7日

厚生文教常任委員会委員長 中村和宏